

ひかり 議会だより

No.38

2019.7.12

発行編集：日之影町議会報編集委員会

座右の銘は「雑草のごとく」
(甲斐聡さん夫婦)

令和元年度補正予算・・・P3 一般質問・・・P4～P6
東京省庁要望書・・・P8 表紙紹介・・・P9

6月定例議会

令和元年第2回定例会は、6月6日に開会し、行政報告1件・報告2件・承認10件・議案8件・発議2件は、原案のとおり可決した。一般質問には、6名が登壇し、町長・教育長に質問、6月14日に閉会した。

平成30年度
一般会計
補正予算

「道の駅青雲橋」プレオープン

■ 今回、専決された事項は、事業実績に伴う補正と執行残高の整理が主なものです。

歳入・歳出補正額 **6307万円追加**
補正後の総額 **53億5608万円**



《新しくなった「道の駅」》



《地どれ野菜コーナー》

特別委員会審査報告書

「消費税及び地方消費税の税率引き上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例」について

今回の条例制定は、10月1日からの消費税増税分の転嫁と長期間の見直しや改正が行われていなかった施設使用料や類似施設との均衡、更には、近隣自治体との整合性等を勘案し改正するものであり、税の公平な観点から避けることのできないものと判断したところがあります。

よって、本条例の制定については、本会議において原案の通り可決すべきものと決定いたしました。

日之影町選挙管理委員会委員の決定

選挙の方法は、議会の指名推薦により、次の方々が決定しました。

【任期】令和元年7月19日から令和5年7月18日まで

【選挙管理委員会委員】

- ・甲斐 秀明 氏(西深角) ・高橋 港夫 氏(東日之影) ・平田 武利 氏(八戸駅)
- ・甲斐 敏江 氏(新 畑)

「町民センター、福祉館」 解体終わる！

歳入歳出補正額
補正後の総額

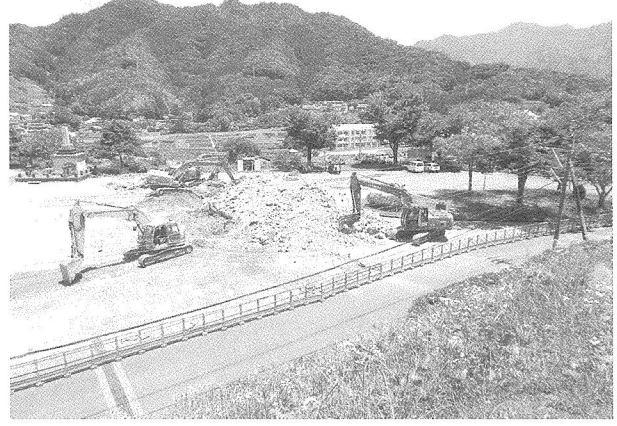
8428万円
57億2128万円

歳出の主なもの

- ◆総務費（コミュニティ助成事業に伴う備品購入等） 2353万円追加
- ◆民生費（介護保険特別会計繰り出し金等） 152万円追加
- ◆商工費（道の駅青雲橋の外構等工事費並びに
プレミアム商品券発行事業等） 5498万円追加
- ◆土木費（地方創生道整備推進交付金事業等） 1293万円追加



《長年、親しまれた町民センター》



《新庁舎建設地》

議員発議

発議1号 提出者 高館 英嗣

「日之影町産木材等利用促進条例の制定」について

木材は、再生可能な資源であると共に癒し効果がある等、優れた特性を持っています。木材の利用を推進することは、本町の基幹産業である林業の活性化はもとより、土木・建築関連及び他産業の振興、就労の場の確保等、本町地域経済への波及効果が期待されます。今回条例として、多くの方に周知・理解していただき山林と共に共生できる町づくりに資するため、この条例を定めるものです。

発議2号 提出者 一水 輝明

「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」

現行の「過疎対策法」は令和3年3月末をもって失効することとなりますが、過疎地域が果たしている多面的、公共的機能を今後も維持していくためには、引き続き過疎地域に対して、総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立推進することが重要であると考えます。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望するものであります。

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関に対し、施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしている。今議会では6人の議員が質問に立ちました。

すまいるバスの農産物運搬の考えは

町長 公共交通対策協議会(仮称)を設置し検討する



小谷 幸治
議員

問 すまいるバスで「道の駅」などへの農産物等の運搬は出来ないか伺う

町長 農産物等の運搬のみならず、住民の移動手段の確保、買い物支援などの総合的に検討する必要がありますので、住民や交通関係者、福祉事業者などで構成する協議会を立ち上げ検討する。

問 農林産物の生産向上の支援、新規作物の栽培奨励の支援について伺う

町長 国、県の補助金を活用しながら、栽培施設及び省力化の機械導入、また、町単独事業では「たばこ園芸施設整備」「ハウス施設更新」「椎茸ほた場作業路舗装」等の事業を推進している。市場評価の高い、くり、ゆずについては、防除、剪定、残幹処理の受託作業を実施し、産地の維持を図って行く。新規作物の栽培奨励では、りんどう栽培の取り組みに苗及び栽培資材の支援を実施して

いる。農林業の支援については、事業内容の見直しを行いながらその時にあった支援を進める。

問 農産加工品の日之影認証制度の設置と六次産業化への取り組みについて伺う

町長 加工品については、複数にわたることから、認証の基準づくりなどの制度設計に、十分な検討が必要であり、加工事業者等との意見交換を行い検討していく。六次産業化については、農産品加工セミナーを開催し、町内産農産物を活用した「栗ごはんの素」や「ゆずドレッシング」「マロンペイスト」などの製品化を行い、実際に販売を始める方も出てきた。今後生産者、加工グループとの連携を密にし、日之影ならではの産物の開発、研究に努めていく。

問 アグリファームの育苗事業の中に、今後水稲育苗も含めた主力作物等の育苗事業の取り組みについて所見を伺う

町長 受託料収入だけではなく、農産物を生産し収益を確保しつつ、育苗施設の整備、また人員の確保に努め、今後検討していく。

水防災に係る仮設住宅の取扱いは

町長 町での活用の意向があれば払い下げも可能



小川 輝久
議員

問 仮設住宅の撤去前の払い下げを受け、老朽化に替わる代替え住宅の考えはなにか伺う

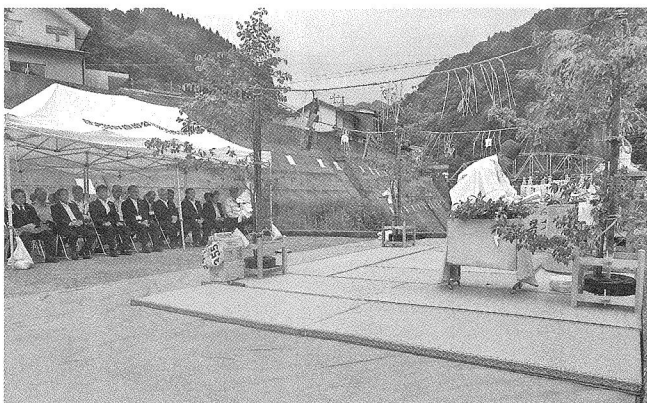
町長 仮設住宅も建設から10年以上経過しており、立地条件や生活環境、今後の住宅整備等考慮して県との協議を進める。

問 中央地区活性化のその後の進展について伺う

町長 2月より地域おこし協力隊を配置し、町づくりアドバイザーと連携し、地区住民の皆様の活性化に係る、コミュニティの場として、ひのかけ夢スタジアムをオープンさせた。意見を広く聞き、関わりを持ち、行政の支援も行ってまいります。

問 五ヶ瀬・日之影川の安全供用について、降り道の整備について伺う

町長 両河川は、本町観光の重要な資源となっている。鮎かけのみならず、水に親しむ場所づくりも含めて、関係機関と協議しながら調査していく。



《五ヶ瀬川安全祈願祭》

HINOKAGE CIKAI DAIYORI

高齢者への農林業支援対策は

町長 状況を見据えながら検討していく



一水 輝明
議員

「通学路の安全対策は大丈夫」

教育長 地域と一体となり見守っていく。

問 近年、高齢者ドライバーの事故が多発しているが、児童の安全確保の対策は

問 平成31年度にスタートした収入保険制度の加入状況と課題は

町長 農業共済組合が加入推進しているが、秘密保持のため情報を得ることはできない。また、他の保証制度と重複加入ができない点や、主要品目によって、どの保証制度に加入することがメリットになるか等、課題もあるので今後の動向を注視していきたい。

問 農業受委託システムの中心に、高齢者農家への受委託料の一部補助制度の考えはないか

町長 現時点で、補助制度はできないと考える。今後、農業従事者の高齢化は、更に進行することが予測されることや、直接支払制度の見直しもなされると思うので、状況を見据えながらシステムの内容も検討していく。



《収穫が待たれる露地野菜》

教育長 通学路における危険箇所を、県、警察、町及び学校が連携して点検する、「日之影町交通安全プログラム」に基づく活動で危険箇所を解消、改善の要望を続けている。また、教職員や保護者の立番指導、地域の見守り隊の協力もあり大変ありがたいと思っている。今後も、学校、地域、行政が一体となり、子供たちの命を守っていく。

庁舎移転後の行政サービス対策は

町長 公平な行政サービスを検討する



高舘 英嗣
議員

町長 導入費用なども検討し、日之影・八戸郵便局において、住民票や印鑑登録証明書が交付できるのか、今後郵便局と協議しながら検討を進めていきたいと考えております。

問 中央地区活性化協議会で上がった意見に対する、本町の今後の取り組みについて伺う

町長 地域の活性化には、住民自らの関わりが重要となっていくことから、「まちづくりアドバイザー」や「地域おこし協力隊」を活用し、地域住民の意見を集約、さらに意識の向上に努めながら、地域活性化の支援を行っていきます。

問 庁舎移転後の行政サービスについて伺う



《活性化に向けて動きだした 中央地区》

患者の減るなか、今後の病院経営は

町長 今後、協議を重ねて判断する



工藤 英信 議員

問 西臼杵三町の首長で県北の地域医療構想の枠組みのなか、病院のあり方について今日までの経緯と経過を伺う

町長 平成27年度に保健所および三町の関係者で意見交換がなされ、検討会の設置、三町の副町長及び病院院長を委員とする部会が開催された。現在の三町長とも「統合再編の判断材料となるたたき台は必要であり、今回の西臼杵公立病院部会の協議は是非とも行うべきである」と意見は一致した。

問 病院検討委員会の答申を受け、現状の病院形態を継続しているが、年々患者の減るなか今後の病院経営を伺う

町長 公共病院検討会で研究を重ね専門家の意見を取り入れて、今後協議を重ね、ある程度の材料が出揃ってから判断する。

問 「新改革プランが平成29年に策定され、令和2年までの期間があるが、2年間の実績と評価を伺う

町長 入院患者は目標値一日30人に近く、外来患者一日1000人は大変厳しいが当面新改革プランは継続する。



《日之影国民健康保険病院》

新「道の駅」を町民で育てよう

町長 先ずは各関係者との協議にはいる



甲斐 睦彦 議員

問 新「道の駅」は、連休中多くのお客さんに利用して戴いた。お客様の感じ方は多種多様であり、町民で育てていくために意見を集う場が必要と考え

町長 利用者のアンケートを含め検討委員会の再開等を含め協議を進める。

問 免許返納者は本町に於いて2年間で55名が返納されている。中山間に於いては深刻な問題である。更なる支援の拡充が必要と考える

町長 今後は民間を含めた「公共交通機関対策協議会」にて対策を図る。

問 傾・五葉トッキン岳の安心安全な登山に向けて、おもてなしの観点から最低限の整備が必要ではないか

町長 森林管理署等と協議をし、案内板の設置などに努める。

問 「日之影町農産物認証制度」の拡充に向けた支援策を伺う

町長 農産物の安心安全に向けて生産者が取り組みやすい制度に支援する

「安心安全な地域づくり」について

問 鹿川地区の生活道路は延岡地区に位置する。過去にも孤立した経緯がある。長期化したときの各関係機関とのシミュレーションが必要と考えるが、見解を伺う

町長 当地区に限らず「ヘリ」コプターによる支援物資の輸送を要請する

問 「事務事業の自己点検・評価について」対前年度ブラスになっており喜ばしい結果である。教育長としての見解を伺う

町長 「教育で町を元気にする」意識が浸透し職員・地域が一体となり取り組んだ成果と考え、さらに底上げにも取り組んでいく。

所管事務調査報告書

◆総務文教常任委員会

急げ!!

買い物支援対策

【調査実施日】

令和元年5月16日

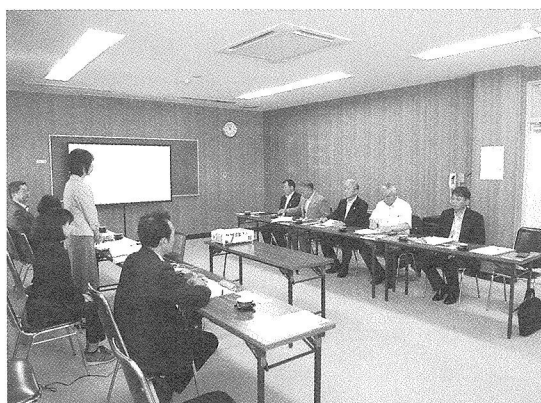
【調査場所】

人吉市社会福祉協議会

【調査項目】

高齢者の支援について（買物支援見守り）人吉市社会福祉協議会では、一人暮らしで見守りが必要な方が、地域で安心して暮らせるように、小地域ネットワーク活動を基本に支援しています。平成26年に人吉買物センターを開所し、市内62店舗と協定を結び商品力アップ販売の支援を2名の職員で行なっています。本町において、社会福祉協議会が買物支援を行なっていますが、見守りを兼ねた僻地の支援は非常に厳しいものがあります。今後はJA（Aコープ）、道の駅も含めた新しい地域ネットワーク

の強化とコミュニティバスの効率的な運用についてさらに調査を行なっていく予定です。



《人吉市社協との意見交換会》

◆経済建設常任委員会

【調査実施日】

平成31年4月11日

【調査場所】

- 1、森林基幹堂高千穂日之影線
- 2、林道山の頭線

3、林業専用道後梅・二ツ橋線

【調査事項】

■林道施設整備の調査

1、森林基幹道「高千穂日之影線」

「乙女大橋」「第2工区追川入口」

「乙女大橋」の建設は、着工以来

順調に進捗している。今後、鋼材

の搬入などにより、重量車両が県

道に及ぼす影響が懸念されること

から、地域住民の理解と協力が必

要となります。さらに、「第2工区

追川入口」からの着工は様々な可

能性を秘めていることもあり、毎

年工事区間の延長を望むものであ

る。

2、林道「山の頭線」

計画延長4,100m、事業期間

は平成22年から11か年計画で進め

られている。9か年の進捗率が

69・2%で綺麗に整備されている。

今年度整備予定区間については、

上部杉山の管理等に取付道が必要

であることから設計段階での検討

が望まれる。また、皆伐が進む杉

山に、山地災害防止の観点から、

早期の再造林が望まれる。

3、林業専用道「後梅・二ツ橋線」

計画延長2,850m、事業期間

は平成29年度から令和7年度まで

であり、平成30年度にL1180mで

進捗率は2・8%で始まったばかり

である。

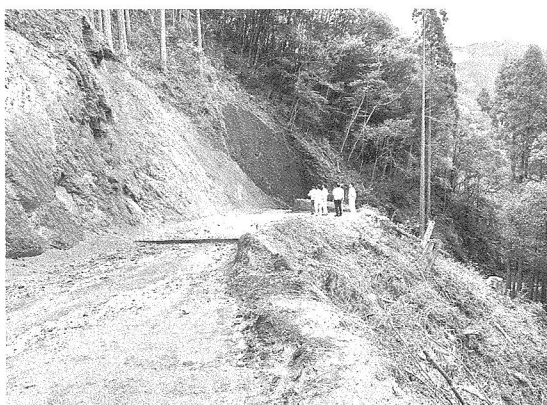
完成後は林道効果など期待でき

るが、今年度までは町道との兼ね

合いから、非常に危険な工事が予

想されることから、安全管理が重

要になってくる。



《「後梅、二ツ橋線」の起点》

関係省庁・国会議員へ要望活動及び視察

【期 日】

6月19日(水)～21日(金)

【場 所】

第二衆議院会館

宮崎県東京事務所及び総理官邸

【出席者】

議長他7名・事務局2名

■全議員による各省庁要望を、衆議院会館会議室に職員を招き、七事項(二十六項目)の要望活動を行いました。

【抜 粋】

1、中山間地域等直接支払制度の継続と農業法人支援制度の拡充について

第4期の最終期に入る「中山間直接支払制度」は、我々中山間地域にとりましては、なくてはならない命綱である。併せて、農業法人も三年目となり、農作業受委託業務を中心に、着実に成果を上げてきた。引き続き、支援策を行うこと。

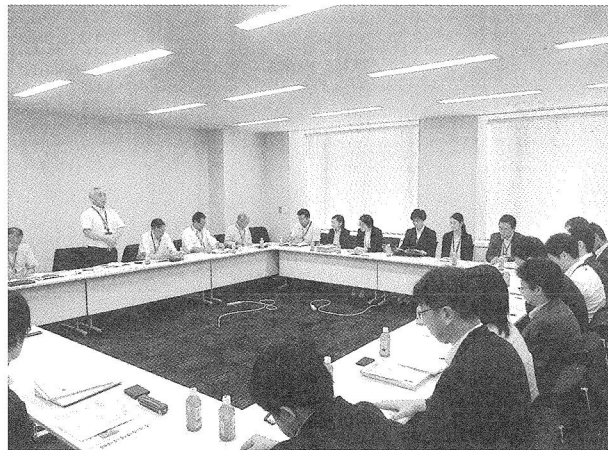
2、森林林業産業振興対策について

森林資源を将来にわたって利用するためには、伐採から再造林までの資源循環型林業を確立する必要がある。しかし、少子・高齢化による担い手不足等や野生鳥獣の食害により、更新困難な林地が拡大している。多面的機能を維持するための支援を図ること。

3、有害鳥獣の被害防止対策について

有害鳥獣の被害は、耕作放棄地の増加、多

面的機能の低下により、集落存続の危機にも繋がりがかねない状況にある。引き続き、関連予算と地方財政措置を図ること。また、食肉施設の支援等ジビエ普及の推進を図ること。



《各省庁との意見交換会》

4、過疎地域支援策について

少子高齢化による人口減や、高齢化率も進み、今後、運転免許自主返納による買い物弱者の増や、小水道の維持管理等、多面的機能の衰退が危惧され国土の保全にも影響が出る予測される。関連交付金の継続と地方に配慮した柔軟な支援策を講じること。

5、商工業の振興について

最低賃金のベースアップや厚生年金加入資格の拡大は、良いことではあるが、小規模事

業者には、経営負担が生じ持続困難な状況にある。事業者に対しても、制度の見直しと充実を図ること。

6、「九州中央自動車道」の早期整備について
本町にも、九州中央自動車道道の「高千穂日之影間」が一部開通し、「深角平底」間の開通が待たれる。また、「五ヶ瀬高千穂」間も事業化され、今後、一日も早い全線開通に向け、事業化を図ること。

7、地方議員の待遇及び議員のなり手確保対策について

町村議会においては、全国的な人口減少や高齢化の影響もあり、なり手不足が深刻化している。議員年金に代わる年金制度及び退職金等の創設と、選挙公営の対象とすること。



《林野庁 庁官室にて》

■ 表紙紹介 ■

今回は、八戸でホープ理容を経営されている、甲斐^{かい} 聡^{さとし}さん83歳と妻の幸^{さち}さん87歳をご紹介します。ちなみに、聡さんは10人兄弟の長男だそうです。

Q 1 八戸で理容室を始めたきっかけは

甲斐さん

博多にいるおじさんのところや東京での修行中に、工藤としみつおじさんが場所を借りてくれたことがきっかけで始めました。

Q 2 ホープ理容の名前の由来は何ですか

甲斐さん

兄弟から【希望】を意味する【HOPE】にしてみたらという提案でホープ理容にしました。

Q 3 オープン当初の仕事は大変でしたか

甲斐さん

槇峰鉱山が閉山になるまでは、朝の8時から20時までご飯を食べる暇もなく、立ちっぱなしで仕事をするのがしょっちゅうありました。昔は、八戸だけでも小学生が80人、中学生が120人居た時がありました。

Q 4 奥さんへ一言ありますか

甲斐さん

支えがあったからこそ、地域貢献を含めいろんな活動ができました。これからは健康第一に二人で仲良くしていきたいね。

Q 5

奥さんはヤクルトの配達もされてみたいですが、印象に残っていることはありますか。

甲斐さん

配達先で、いろんな方と話すことが楽しみでした。また、配達ついでに、買い物を頼まれることもありました。

Q 6

楽しかった思い出は何ですか。

甲斐さん

商工会や信用組合の旅行に行っ、皆と楽しい時間を過ごせたことが思い出です。

Q 7

親戚に大物ミュージシャンがいると伺いましたが

甲斐さん

甲斐バンドの甲斐よしひろさんが親戚になります。

Q 8

最後に一言

甲斐さん

「雑草のごとく立ち上げられる人間になりたい」という言葉を胸にこれまで仕事に地域貢献に頑張ってきました。これからも、目標をもって頑張っていきます。



《甲斐バンドのサイン色紙を手に》

議会傍聴のご案内

6月の定例会には一般の方と宮崎県立看護大学の学生等合わせて20の方に傍聴いただきました。次回の定例会は9月です。皆様の傍聴をお待ちしております。また、議会に対するご意見等お聞かせください。【問い合わせ】議会事務局 TEL87-3908

意見交換会

(見立公民館)

活気ある意見交換 となる!!

〔日時〕

平成31年4月25日
午後18時30分

〔場所〕

せせらぎの里
見立公民館20名の参加をいただき、開会された。

- ・見立公民館長のあいさつ、出席者紹介を行い、意見交換に入る。
- ・はじめに議会活動報告がなされ、フリートークで交換会開始。
- ・以下内容をまとめてみます。
- ・現在町内での困りごとはどのような事か。
- ・有害鳥獣の年間通しての捕獲はできないか。
- ・林道がないため、森林販売が下落になる状況。
- ・煤市ボルダリングまでの道路整備。
- ・河川災害のその後の対応。
- ・見立中跡地の杉伐採、石垣保全。



《意見交換会の様子》

・ユネスコエコパークの認定効果、あけぼの荘の改修。
・等、意見の多くが住民の課題ととらえた。後日経済建設所管事務調査を実施し、対応すべきは早々に対応と回答。いずれも見立公民館の皆様の意見を身近に聞くことができ、有意義な意見交換会でありました。議会としても目配り配りを広くして対応してまいります。

ありがとうございました。

町の風景

梅雨時の田園風景



6月を彩るあじさい



編集後記

新たな元号から2ヶ月が経ち、町民各位にはそれぞれご健勝の事と思えます。6月第2回定例議会では、6名の議員から一般質問があり、傍聴者も多数来ていただきました。ありがとうございます。今後も各団体や、公民館との意見交換会を少しでも多く開催しながら、課題解決に努力を重ね、町民の皆様方の付託に答えられるよう今後とも行政と共に頑張つて参ります。夏本番となりますが、体調には留意されながら過ごしてください。

甲斐徳仁

発行責任者

議長 甲斐徳仁

議会報編集委員

委員長 一水輝明
副委員長 高館英嗣
委員 工藤英信
委員 小谷幸治
委員 小川輝久